

内分泌・代謝学共同利用・共同研究拠点セミナー 生活習慣病解析プロジェクト共催

マウス生体内におけるATP動態の可視化とその可能性

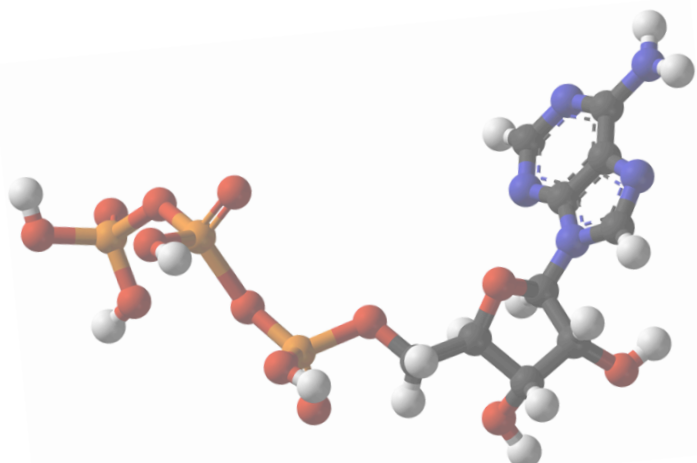
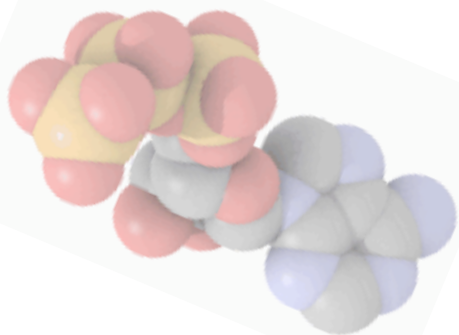
講師：山本 正道 先生

群馬大学 先端科学研究指導者育成ユニット

日時：2015年3月5日（木）16:00-17:00

場所：生体調節研究所 1階 会議室

アデノシン3リン酸(ATP)は生物共通の「細胞のエネルギー通貨」として、細胞活動に重要である。しかし細胞内ATPの分布・変動についての知見は不明であった。2009年にATP濃度を可視化する蛍光共鳴エネルギー移動(FRET)蛍光タンパク質としてATeamが開発され、細胞株でATPの分布と変動が報告された(Imamura, H. et al. *PNAS*. 2009)。そこでこのATeamを利用して群馬大学にてマウス生体内でATPの分布や変動を測定できるマウスを作出した。これを利用して発生期から成体や疾患時に起こる各現象と照らし合わせてATP動態を調べている。全て未発表のデータなので様々な意見を頂きたい。



担当：細胞調節分野 小島 至 (内8835)